



2013年4月1日
スカパーJSAT株式会社

2013年度入社式にあたり新入社員への社長訓示（要旨）

スカパーJSAT株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：高田 真治）は、本日4月1日、港区赤坂の本社会議室において2013年度入社式を行いました。6名の新入社員（男子4名、女子2名）に対し、次のように社長訓示を行いました。

【社長訓示】

入社、おめでとうございます。

皆さんが社会人になる節目にあたり、当社の現状と初めて働くうえでの心構えについて一言お話ししたいと思います。

当社は現在、16機の衛星を保有する衛星通信事業者であり、約380万の契約者を有する有料多チャンネル放送事業者でもある世界でも例を見ないユニークな事業モデルであり、両事業分野においてアジアでも最大級の規模です。

しかしながら、現在のポジションは、新たな技術やインフラ、ビジネスモデルの台頭、あるいはグローバルでの競争環境によっては、一気に崩れてしまう危険性があることを、当社の社員となったこの初日に強く肝に銘じて欲しいと思います。変化に対する感度が働かず、また改革やリスクに対して臆病なまま現在のポジションに安住しようとすれば、遠からず負け組企業の烙印を押されることとなります。

現在、当社の有料多チャンネル事業においては東経124度・128度衛星を利用しているプレミアムサービスが新放送方式への移行期ということで重いコスト負担を強いられています。旧放送方式が終了する来年5月末以降の空き帯域では4K放送も検討されているように、次世代テレビにおいて衛星放送の優位性をもっと発揮できるチャンスでもあります。

一方、宇宙・衛星事業においては、激しい地上回線との戦いのため国内法人顧客の維持に苦勞をしてきましたが、災害・BCP対策、さらには政府機関の各種案件の獲得、加えて衛星需要が拡大している地域へのグローバル展開を進めるとともに新たな技術を使ったサービスにより成長できる可能性が広がっています。

創業以来、パイオニア魂溢れる先輩たちが、社会の変化とニーズを読み取りながら果敢に、柔軟に事業に取り組むことで当社は生き残ってきました。皆さんは、このDNAをしっかりと受け継いで、当社での仕事を通じ社会の発展と豊かで安全な国民生活に貢献するとともに、世界のマーケットに打って出られるよう日々研鑽を積んでもらいたいと思います。今日からは、皆さんも私たちのチームの一員です。一緒にがんばりましょう。

以上